

防犯一口広報

- 令和6年2月末の一宮警察署管内の刑法犯認知件数は376件で、前年同期比で53件の増加となっています。
- 2月中は空き巣が15件、部品ねらいが17件、特殊詐欺が6件と多発し、いずれも前年同期比で100%以上の増加となっています。
- 空き巣被害の約7割は窓から侵入されています。鍵掛けはもちろんのこと、防犯カメラやセンサーライト、防犯フィルム、強化ガラス等の対策によって防犯力を上げるとともに、自己の資産や行動をSNS等でリアルタイムに発信をしないことが被害防止につながります。
- 部品ねらい被害の7割近くは車のナンバープレート盗難が占めています。ナンバープレート盗難防止ネジを活用するとともに、防犯ブザーやセンサーライトの設置等の駐車場対策を進めましょう。
- 特殊詐欺は、アプリや公共料金等の未払い金名目で電子マネー（プリペイドカード）を購入させ、その番号を聞き出すことでカードの金額を騙し取る手口が多発しています。カード番号を伝えることはカードの金額を渡すことと同じことで、犯人はすぐにその金額を換金してしまいます。電子マネーやプリペイドカードというキーワードが出たら詐欺を疑い、購入前に家族や警察に相談しましょう。

交通安全一口広報

- 令和6年2月末の一宮市内の交通事故死傷者数は281名で、前年同期比で26人増加しています。
- 愛知県内では交通死亡事故が多発しており、2月末時点で全国ワースト2位タイとなる22名（前年同期比+6名）が亡くなっています。
特に横断中の歩行者が巻き込まれる事故が多発していることから、歩行者も「乱横断」はやめ、横断歩道を利用しましょう。
- 道路交通法が改正され、全年齢における自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となってからまもなく1年となります。昨年は、ヘルメットの有無によって被害時の受傷程度に大きな差が出る事故が立て続けに発生しました。自身の命を守るためにも、自転車乗車時はヘルメットを着用しましょう。